



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第208号

発行:2023年8月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

介護老人保健施設における看護の役割

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 看護師長 松橋 美和子



令和5年4月1日より阿久和鳳荘に異動となりました松橋美和子と申します。ちょうど阿久和鳳荘が創設された年に湘南泉病院に入職し今年で30年が経過しました。30年という節目に鳳荘に異動に至ったことは、大きな転機で有ると感じております。これまで病院では沢山の症例の患者様に携わり体調が回復され元気にご退院されること、また本人は元より、ご家族様への退院支援などにも力を入れ、今後の生活に困らないよう、スタッフと一丸となって退院指導にも関わってきました。病院は異常が有れば医師にすぐ報告し指示を頂き検査や治療を迅速にすることが出来ますが、施設は病院とは違い生活される場です。異動して間もなく、急変する利用者様を目の当たりにし大きな戸惑いが有りました。これまでは充実した医療機器に恵まれ看護判断することも容易に出来ましたが、施設ではモニター等もなく看護や介護士が利用者様の日々との違いや体調の変化に迅速に気づいて治療に繋げられるよう早期発見に努めなければなりません。疾病治療という頭から切り離し、利用者様が自立した生活が出来るよう安全にサポートし支えるという視点で関わる事が大切であると思います。

また、感染防止対策におきましても、既に新型コロナ第9波に突入と報道等で耳にします。5類に移行した世間は新型コロナに関する対応も徐々に緩和されるようになってきていますが、我々、医療関係施設は3年前と何ら変わらない「withコロナ」と呼ばれる状況を常に念頭に置きながら感染予防対策を行っ

ていくのかを求められます。季節性インフルエンザとは違い季節性がなく、どの様に変異していくか予測がつかない感染症です。施設内で流行すればたちまち甚大な被害になることは間違いありません。そこで職員一人一人が日頃から意識することが重要です。正しい手洗い、消毒、正しいマスクの装着、汚染したものの廃棄の方法など、訓練することや体調管理などに気をつけながら、業務に従事していくことが大切です。利用者に関わる誰もが正しい基本的予防対策が行えるよう教育指導にも力を入れていく所存です。「施設内にコロナを侵入させない。感染拡大させない」精神で日々努力して参ります。関連医療機関との連携強化は欠かせませんので、ご協力のほど宜しくお願いします。

管理者として、経営参画にも目を向けなければなりません。4ヶ月経過した今は、介護保険のことが全く分からず、事務長から資料を頂き勉強している最中です。全体の運営状況を見ましても厳しい実績結果となっています。介護老人保健施設の役割として、急性期病院を退院後、在宅で生活が送れるようにリハビリテーション機能を強化しADL拡大に向けた支援が必要です。介護報酬では「在宅復帰率」の算定が大きく影響していきます。長期化する利用者様との支援や無駄のない衛生、環境の整備、施設運営機能が担えるよう近隣施設や病院との連携は勿論のこと、ご家族とのサポート体制や質の高い看護ケアの提供を目指して参りたいと思います。

地域と共に、未来へ ゆめが丘病院通信

【完成図】



令和6年4月1日 **NEW OPEN**
 湘南泉病院が移転し
 ゆめが丘病院（仮）に生まれ変わります

連日の厳しい暑さが続く中、ゆめが丘病院建設工事は日々着実に進められております。8月2日の時点で病院棟は3階部分まで到達しております。環状4号線はもちろん、ゆめが丘駅ホームからも建物の大きさがしっかりと確認できるようになってきました。

さて、建物工事と並行して内装デザインの選定が始まりました。病院全体のデザインコンセプトは「街と人の健康交流の場としての融合を感じる」です。ゆめが丘地区の新しいまちづくりのなかで病院内外の境界をなくし、光や空間が馴染んでいくようなイメージを目指します。

外来・病棟および健診エリアでは落ち着きと安心感のある雰囲気、救急・高度治療室および手術室エリアでは機能的なデザインと色あいを基調として計画していきます。



【1階受付イメージ】



【1階外来待合イメージ】



【病棟スタッフステーション周りイメージ】



【病棟個室イメージ】



【病棟4床室イメージ】



【健診プラザ受付イメージ】

